

田原城の構造

前回、城の「格」についてふれま
した。城の石垣、堀、天守閣などは、
モニュメントとして封建社会の権威
を示し、それが「格」として認識さ
れますが、城の構造についても同じ
ことが言えそうです。

図を見てみましょう。城の中心は
もちろん本丸です。急峻な山で敵の
侵入を拒む山城は別として、この本
丸を守るためには、取り囲むように

田原城の曲輪等の名称

- ① 藤田門
- ② 萱門
- ③ 不浄門
- ④ 格子門
- ⑤ 四脚門
- ⑥ 日出門
- ⑦ 二の丸門
- ⑧ 通用門
- ⑨ 多門
- ⑩ 埋門
- ⑪ 桜門
- ⑫ 新倉門
- ⑬ 二の内
- ⑭ 三の内
- ⑮ 二の丸櫓



●田原城図

曲輪、堀、土塁を配置するのが城の
普請として正統的な方法です。

田原城は山城ではありませんし、
平地に立地する平城でもありません。
あえて言うならば丘陵を利用した平
山城に相当します。また田原城は、
かつて海が城の周囲に入り込んだ入
江となっており、その状況が巴文に
似ていることから、巴江城とも呼ば
れていました。つまり、かつては海
岸に沿って舌のように突き出た
城だったのです。

本丸と平地との高低差は13mほど
で、これでは東側から本丸は丸見え
で、何の障害もなく容易に敵に攻め
られてしまいます。



●東から見た田原城跡(写真中央。現在では城の全景を見ることはできない。)

これらを克服するために、本丸の
東に腰曲輪と堀を配し、西には堀と
帯曲輪を配することにより、本丸が
城外から直接攻め込まれないように
工夫しています。しかし、この程度
の普請で、実戦の防禦に役立つたか
どうかは疑問です。

この図を見ると、城の南側は石垣
を伴う門、櫓などが配置され、いっ
ぱう西側は土造りの普請なのがよく
分かります。桜門周辺が登城する人々
に威圧感を与える工夫だったとら、
東側から南側は田原湾からの船を意
識したものでしょう。このような本
丸を中心とした曲輪の配置は、近世
城郭の格式を保つための工夫だった
のです。(増山)

※1【曲輪】城内で堀・土塁などで区画され
た敷地のこと。本丸・二の丸など。
※2【普請】土木工事のこと。

▽田原町博物館 ☎222局1720

今月の表紙 COVER STORY

「人の心は石できてきているわけ
じゃない」「人の心には奪うことの
できないものがある…それは希望
さ」▼映画『ショーシャンクの空に』
では、無実の罪で投獄された主人公
が、長く悪夢のような獄中生活の中
でも決して希望を捨てず、最後は自
由を手にする様が描かれています。
そこから学ぶことができるのは、ど
んな環境に置かれても、どんな年齢
でも、「希望」心の豊かさ」を持ち
続けることが、人が人らしく生きる
ために必要だということです▼私た
ちには「希望」を持つ権利がありま
す。しかし一方で、希望をかなえる
ためには「努力」が必要なのも忘れて
はいけません▼成人を迎えられた皆
さんには、大きな希望があること
でしょう。その希望がかなうかどう
かは、あなた次第です。(写真・階段
を一段一段登るように前に進もう。)

【人口と世帯数】

総人口	36,874人		
男性	18,826人		
女性	18,048人		
世帯数	11,542世帯		
出生	31人	死亡	28人
転入	92人	転出	117人
増減	-22人		

(平成15年1月1日現在・増減は12月中)

【行政面積】 82.86 km²

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)